

圖版XIV

雑誌名	東北帝國大學理學部地質學古生物學教室研究邦文報告
巻	37
発行年	1942-04-30
URL	http://hdl.handle.net/10097/00110840

圖 版 XIV

- (1) Anggi 山の中腹．通稱 English bivak, この邊より針葉樹見え高山地帯に入る．路の白きは花崗岩の爲めなり．
- (2) Erai 川の高位河岸段丘．段丘礫層 (g) 中に埋木を挟在す．
- (3) Erai 川の河岸段丘礫層．立てるは初島氏．
- (4) Anggi 層．Erai 川中流河岸に露出す．砂岩と千枚岩の互層．大體西方に向つて 30° の傾斜を示す．3 人の土民兵我等を親切に案内す．